

創立者の功績たたえる



千葉壽良さんの功績をたたえて三愛病院内に設置された胸像

記念碑と 胸像除幕

三愛病院

特定医療法人社団千寿会創立者で、90歳で昨年亡くなった千葉壽良さんの功績をたたえる記念碑と胸像の除幕式が7日、登別市中登別町の三愛病院で行われ、関係者が完成を祝った。

「中登別を拠点に50年にわたり、高齢者や地域精神医療・福祉の発展に貢献し、三愛病院の礎を築いた精神を、伝えていこう」と建立した。

胸像は高さ約70センチで西館ロビーに設置。記念碑（高さ80センチ、幅90センチ）は正面玄関前に設置、壽良さんが好んだ「創造する楽しみは何事にも優るものである」の文字を刻んだ。

この日は約30人が出席。祝詞奏上に続き、次男の千葉泰二理事長・院長、千葉みどり理事ら5人により胸像や記念碑がお披露目されると、出席者から拍手が送られた。

千葉理事長・院長は「何らかの形で功績を残したいと考えていましたが、今後職員や患者さんを温かく見守ってくれるのでは」と話していた。（鞠子理人）